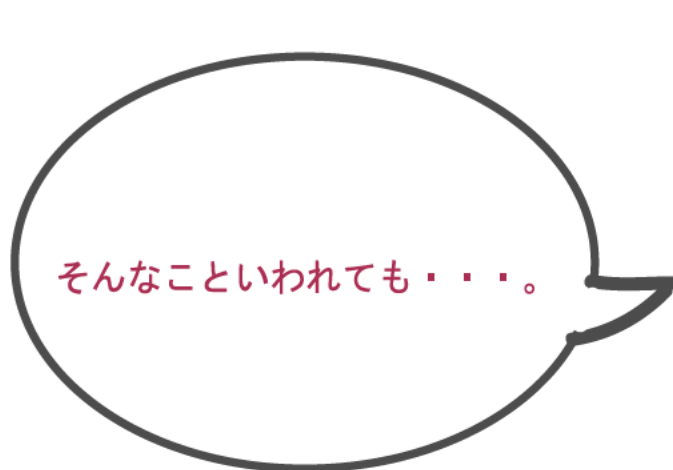




やまぐちたけ お いけ
山口長男 《池》

わたし えが かたち こきゅう うご
「私の描く形は、呼吸するようにゆっくりと動くようでありたい」

—— やまぐちたけ お
山口長男



そんなこといわれても・・・。



いちばん さいしょ み ぬま らくじつ
いちばん最初に見た、フォンタネージさんの《沼の落日》とくらべたら、
ぜんぜん けしき み か
全然ちがうけど、フォンタネージさんも、景色を見たまま描いたんとちご
て、いらんと思った木とか建物なんかをわざと描いてない。そのほうが絵
かんが やまぐち かんが
がよくなるって考えたんやわ。山口さんはフォンタネージさんの考えをもつ
いけ けしき み じぶん す いろ いち ど
とさきにすすめて池の景色を見たときに、自分の好きなかたちや色を一度
あたま い かんが え
ぜんぶ頭に入れて、じっくり考えてから絵にしとる。
え じぶん いちばん おも か
どちらの絵も自分が一番ええと思ったとおりに描いとるからええんやわ。